

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 1年3組 浅野 優太さんのコメント

【5分後に涙のラスト】

作：エブリスタ編（河出書房新社）

読み進めるうちに、話がどんとどんと二転三転と進んでいき、いつのまにか話に引き込まれてしまいましたwww。気が付くとつい涙してしまうような話が多数あり「5分後に驚愕のどんでん返し」の2冊目を買ってしまいました。とても面白いので読んでみてください。ワロタwww

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 2年1組 豊原 光優さんのコメント

【かがみの孤城】

作：辻村 深月（ポプラ社）

主人公ころは、学校に行けなくなった。毎日、ずっと家にいる生活が日常になった。そんな日常を変えていったのが、かがみの中にある城で出会った6人の仲間たちと不思議な力をもつ、オオカミさま。なぜ、ころたちはかがみの中に入ることができたのか、また、オオカミさまの正体とは。とてもおもしろいお話なので、是非読んでみて下さい。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 2年3組 田幸 凜音さんのコメント

【君の臍臓をたべたい】

作：住野 よる（双葉社）

ひょんなことから、クラスで人気者の桜良の病気の事を知ってしまった主人公「僕」と桜良のお話です。この物語は、主人公の名前が最後まででてこず、その人が「僕」にたいして思っている事がかかれています。その部分がおもしろくて大好きです。

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 2年1組 茂木 雅尚さんのコメント

【ぼくらの七日間戦争】

作：宗田 理（ポプラ社）

僕がこの本を読んで感じたことは、主人公の菊地英治のクラスの人達が子供だけの開放区というものを作り七日間の間だけけど大人たちへの反乱をおこし、子供たちだけのとってもすごい作戦を立てながら先生や親、警官と戦うのがとてもおもしろいです。ぜひ読んでみてください！

第8回

すざか子ども読書ちゃれんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 3年 1組 長岡 大悟さんのコメント

【神様の御用人】

作：浅葉 なつ (KADOKAWA)

主人公の良彦と方位神の黄金との対話が面白かった。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



常盤中学校 3年2組 伊藤 愛夏さんのコメント

【小説・落第忍者乱太郎ドクタケ忍者隊最強の軍師】

作：阪口 和久（朝日新聞出版）

この話は、忍術学園の一年は組の教科担当土井半助先生が、敵と戦って記憶そう失と行方不明になり、それをいろんな人が助けにいく話です。戦いのシーンや助けにいく方法がとても忍者らしく、すごくかっこいいシーンがたくさんあるし、ギャグもたくさんもりこんであるので楽しくて読書が苦手な私でも一日で読めたので、ぜひ一度読んでみて下さい。

第8回

すざか子ども読書ちゃんじ

2018

コメント紹介!!



【よるのばけもの】

作：住野 よる（双葉社）

いじめが周りになかった人は少ないと思います。でも関わり方は様々。この本での登場人物たちはどのように関わるのか。主人公はいじめに向き合うことができるのか。また“ばけもの”になってしまう原因はなんなのか。自分なりの答えをみつけてみてください。